

## 市民の力作を展示

松浦市民文化祭（作品展示）が9月18日と19日の2日間、文化会館で開催されました。

会場には、絵画や書、手芸、写真など、幅広い年代の市民から寄せられた力作約470点が幼児、小中学生、高校・一般のブースに分かれて展示され、来場者を楽しませました。

また、隣接会場には、市内小中学生から応募があった明るい選挙啓発ポスターも展示され、実際の選挙と同様に、好きな作品を選んで投票する取り組みも行われました。



## 英語でスピーチ

「第10回松浦・マッカイ ビル・モロイ杯 Englishスピーチ・コンテスト」が9月23日、文化会館で開催されました。このコンテストは、松浦市とマッカイ市の姉妹都市交流で、友好関係の構築に尽力した故ビル・モロイ氏の功績を称えとともに、中高生の英語力の向上を目的として開催されています。参加者は、英語のスピーチにジェスチャーを交えながら、表現豊かに発表を行いました。

各部門の最優秀者は下記のとおりです。

【暗唱部門】木下 愛莉さん（鷹島中）

【オリジナル・スピーチ部門】沖野 蒼依さん（松浦高校）



## 宇宙をテーマに科学を学ぶ

宇宙をテーマに科学を学ぶ「コズミックカレッジ」が9月26日、文化会館で開催されました。

この日は、市内外から44組の親子が参加。JAXA（宇宙航空研究開発機構）宇宙教育リーダーの川田政昭さんと、清水清美さんを講師に、ロケットが飛ぶ仕組みやエンジンの構造などを学び、最後に手作りロケットを一人ずつ打ち上げました。

子どもたちから「どうやったら宇宙飛行士になれるの?」「ロケットの最高速度はどのくらい?」などの質問もとびだし、宇宙への関心を深める一日となりました。



## 市内最高齢者 岡留ミツエさん

市は長寿をお祝いするため9月27日、市内最高齢者である岡留ミツエさん（福島・福崎）へ花束を贈呈しました。

岡留さんは、家族と自宅で過ごされており、7月28日に108歳を迎えられました。誕生日には、家族などに祝福され、ケーキのろうそくを吹き消されたそうです。

市内の100歳以上の高齢者は、10月12日時点で29人（うち女性27人、男性2人）となっています。



# まちの話題

## 土地売買契約を締結

智洋水産株式会社（川口智洋代表取締役）と市は9月30日、同社の第3工場建設に伴い、土地の売買契約を締結しました。

同社は、御厨町坊ノ上に第1、第2工場を構え、九州一円で水揚げされる魚全般を冷凍加工し、国内および海外へ販売しています。今回、保管能力9,500トンの冷凍倉庫を増設し、既存の設備と合わせ15,000トンの保管が可能となります。

川口代表は「今後も安定的に、松浦の旬の魚を全国各地、世界に向けて届けたい」と抱負を述べました。



## 新しいALTが着任

新しくALT（外国語指導助手）として着任する、ニヤラー・デップ・ニアルさん（アメリカ出身）の委嘱状交付式が9月27日、市役所で行われました。

ALTは、市内の小・中学校で英語の指導を行い、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを子どもたちに伝えています。

ニヤラーさんは「温かく迎えていただき、ありがとうございます。松浦での生活や日本の文化を学ぶことがとても楽しみなので早く日本語を習得したい」と話しました。（自己紹介は12ページへ）



## 各地で清掃活動

公益社団法人松浦市シルバー人材センター（村田政司理事長）は、10月の全国シルバー人材センター事業協会の普及啓発促進月間に合わせて、市内の8地区で120人以上の会員が奉仕活動を行いました。同センターは、社会への貢献とセンターの活動をPRするため、毎年公共施設などの清掃活動に取り組んでいます。

調川地区では10月9日、同会員9人をはじめ、つきのかわ支え合いサポーター「ムーンリバー」の有志などが参加し、老人憩いの家や遊具の清掃、除草活動を行いました。



## 珈琲に感謝

第3回<sup>コーヒー</sup>珈琲感謝祭が10月1日、今福神社で開催されました。この催しは、コーヒーの日を祝う会（福井規会長）が、国際コーヒー機関が定める「国際コーヒーの日」に合わせて毎年開催しています。

今年は、市内外のコーヒー、菓子店の5店舗が集い、コーヒー豆を奉納。日本でも馴染み深い飲み物となったコーヒーに、感謝の意を表しました。

早田伸次宮司は「日本で収穫できないものを毎日飲めるということは、平和であるという証。皆で感謝の思いを捧げましょう」と話しました。

